

平成 20 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 滝川幸司

最終学歴	1998年3月 大阪大学大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程修了			
取得学位	博士（文学/大阪大学）			
所属学会	中古文学会、和歌文学会、和漢比較文学会			
現在の専門分野	平安朝文学			
研究課題	天皇と文芸に関する研究、菅原道真研究、平安前期詩人歌人伝研究			
【研究上の特記事項】				
平成18～21年度科学研究費若手研究（B）「平安時代前期における天皇主催詩宴の復元的研究」研究代表者				
【社会的活動】				
中古文学会関西部会運営委員、和歌文学会委員・例会委員、和漢比較文学会常任理事・編集委員、市民講座講演2回（こおり山市民大学、河南これから会）、市民講座（社会教育財団5月～3月）				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文)				
勅撰集における詩人・歌人の官職	単	2008年5月	王朝文学と官職・位階（竹林舎）	勅撰漢詩集、勅撰和歌集の撰者及び作者の官職を考証し、勅撰集の社会的位置を検討した。167 199 p
時平と道真 『菅家文草』所収贈答詩をめぐって	単	2008年7月	国語国文（京都大学文学部国語学国文学研究室）77-7	対立的と思われる時平と道真の交流について、『菅家文草』所収贈答詩を読解しながら検討した。35 54 p
(その他)				
解説 工藤重矩著「紫式部集の和歌解釈 伝記資料として読む前に」	単	2008年7月1日	源氏物語と紫式部研究の軌跡 研究史 編（角川書店）	表題の論文についての解説。466 473 p